

セミナーのご案内

今回配布先を限定しておりますので、関係各位へのご回覧につき、ご高配をお願いいたします

回					
覧					

高等教育活性化シリーズ 114 (通算 372 回)

2007 年 3 月 13 日(火)

U S R の試練と挑戦

科学研究活動の不正防止対策～検証と進化

高等教育活性化シリーズ 115 (通算 373 回)

2007 年 3 月 15 日(木)

制度の改革動向と内部統制の強化

科学研究費補助金の不正使用対策

U S R の試練と挑戦

科学研究活動の不正防止対策～検証と進化

～研究環境と責任体制の再構築に向けて～

声明「科学者の行動規範」/責任ある研究活動/専門職へのチェック機能/研究環境の再構築
不正対策チームの検討成果/管理・監査のガイドライン/公的研究資金制度の今後

[東京大]「科学研究行動規範」制定/規範委員会の規則と運用/研究費運用管理の具体策

[同志社大]全学的な基準/「人を対象とする研究」倫理基準/文科省ガイドラインへの対応

講師陣

- | | | |
|---------|---|--|
| 笠木 伸英 氏 | / | 日本学術会議・科学者の行動規範に関する検討委員会副委員長
東京大学大学院 工学系研究科教授 |
| 糸川 泰一 氏 | / | 文部科学省 科学技術・学術政策局調査調整課課長補佐 |
| 岡村 定矩 氏 | / | 東京大学理事・副学長 大学院理学系研究科教授
東京大学・科学研究行動規範委員会委員長 |
| 木村 國男 氏 | / | 同志社大学 研究開発推進機構研究開発推進室長 |

2007 年 3 月 13 日(火)日本教育会館 会議室(東京・神保町)

制度の改革動向と内部統制の強化

科学研究費補助金の不正使用対策

～執行・運営ルールの改善と管理・会計処理・監査の実際～

関連政策の新展開/審査・配分・執行・評価システム/間接経費/研究者・研究機関の責務
審査委員選考方法の見直し/若手研究の新設/細目表の見直し/年度間繰越の活用促進

不正の背景と社会の眼/責任体系の明確化/運営・管理の体制整備/モニタリング制度の構築

講師陣

- | | | |
|---------|---|--|
| 磯谷 桂介 氏 | / | 文部科学省 研究振興局学術研究助成課長 |
| 大木 宰子 氏 | / | (独)日本学術振興会 研究事業部部長 |
| 大久保和孝 氏 | / | 公認会計士 文部科学省・研究費の不正対策検討会委員
新日本監査法人CSR担当パートナー CSR推進部長
新日本インテグリティアシュアランス(株) 常務取締役 |

2007 年 3 月 15 日(木)日本教育大学院大学 会議室(東京・麹町)



[参加要領]

科学研究活動の不正防止対策～検証と進化

日時：2007年3月13日(火) 10:00～16:50
 会場：日本教育会館会議室 (東京・神保町)
 東京都千代田区一ツ橋2-6-2
 TEL 03(3230)2831

アクセス：東京メトロ半蔵門線 都営新宿線
 「神保町」駅下車 徒歩3分
<http://www.jec.or.jp/koutuu/>
 会場の地図及び受講証を送付しますので
 必ずご確認ください。

参加費：A.ご一名(資料代込)
 40,000円(消費税込)
 B.メディア参加(資料・カセットテープ送付)
 41,000円(送料、消費税込)

科学研究費補助金の不正使用対策

日時：2007年3月15日(木) 10:30～16:20
 会場：日本教育大学院大学 (東京・麹町)
 東京都千代田区二番町8-2

アクセス：地下鉄有楽町線「麹町駅」5番出口より2分
 JR「市ヶ谷駅」「四ツ谷駅」より徒歩6分
<http://www.kyoiku-u.jp/shisetsu/access.html>
 会場の地図及び受講証を送付しますので
 必ずご確認ください。

参加費：A.ご一名(資料代込)
 38,000円(消費税込)
 B.メディア参加(資料・カセットテープ送付)
 39,000円(送料、消費税込)

新年度(4月以降)のお支払いにも対応いたします。

参加費の払い戻しはしませんので、申し込まれた方が都合の悪いときは代理の方がご出席ください。

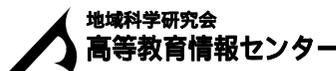
インターネットで小会の最新情報をご覧いただけます <http://www.chiikikagaku-k.co.jp>

申込方法：参加申込書に所要事項を記入のうえ FAX または郵送にてご送付ください。

支払方法：銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。

みずほ銀行麹町支店 普通 1159880 三菱東京UFJ銀行神田支店 普通 5829767
 三井住友銀行麹町支店 普通 7411658 郵便振替 00110-8-81660
 全ての口座名<(株)地域科学研究会>
 ご請求なき場合は振込受領書を領収書に代えさせていただきます。

申込先：地域科学研究会・高等教育情報センター
 東京都千代田区一番町6-4 ライオンズ第2-106
 TEL:03(3234)1231/FAX:03(3234)4993
 Mail:kkj@chiikikagaku-k.co.jp



Web:<http://www.chiikikagaku-k.co.jp/>



キリトリ線(参加申込みの折は必ずお送りください)

研修会参加申込書

2007年 月 日

高等教育活性化シリーズ 114 科学研究活動の不正防止対策～検証と進化	当日参加	メディア参加
高等教育活性化シリーズ 115 科学研究費補助金の不正使用対策	当日参加	メディア参加

勤務先 _____

所在地 〒 _____

TEL _____ FAX _____ 連絡部課・担当者 _____

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

通信欄 支払方法(郵便振替・当日払い・銀行振込) 必要書類〔 請求書 見積書〕

*この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義項目
10:00 ～ 11:30	<p>日本学術会議声明「科学者の行動規範」と残された課題 東京大学 笠木 伸英</p> <p>1. 変容する研究環境と不正行為 (1) 変容する研究環境 (2) 日本の風土と思考態度</p> <p>2. 日本学術会議声明「科学者の行動規範」 (1) 日本学術会議における検討 (2) 「科学者の行動規範」 (3) 「科学者の行動規範の自律的実現を目指して」 (4) 関係諸団体へのアンケート調査</p> <p>3. 責任ある研究 (1) 不正行為とは (2) 責任ある研究活動とは</p> <p>4. 専門職業人 (Profession) としての研究活動 (1) 社会を支える専門職 (2) 研究活動のチェック機能 (3) 専門職サービスのチェック機能</p> <p>5. 責任ある研究を促すために (1) 研究環境の構築 (2) 組織と個人, 世代間の役割と責任 (3) 研究倫理と職業教育 質疑応答</p>
11:40 ～ 12:40	<p>研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン(実施基準)を巡って 文部科学省 桑川 泰一</p> <p>1. 文部科学省「研究費の不正な使用に関する対策チーム」における検討 2. 研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン(実施基準) (1) 研究費の不正対策検討会の経緯 (2) ガイドラインの内容</p> <p>3. 研究費の不正対策検討会からの提言 (1) 今後の公的研究資金制度の在り方</p> <p>4. 今後の取組について 質疑応答</p>
13:40 ～ 15:10	<p>[東京大] 科学研究の行動規範と不正防止対策 ～委員会規則と今後の運用～ 東京大学 岡村 定矩</p> <p>1. 「東京大学の科学研究における行動規範」とその制定の背景 2. 東京大学行動規範委員会規則の概要 (1) 研究不正の定義 (2) 委員会の構成 (3) 受付窓口の設置と公表 (4) 受付から予備調査、本調査、裁定までの手続 (5) 裁定概要の公表 (6) 研究者への啓発活動</p> <p>3. 運用上の課題について 4. 東京大学における研究費不正防止対策 (1) 研究資金の管理体制 (2) 検収制度の見直し (3) 物品等の調達改善 (4) 異なる研究資金制度の使用範囲の分類と周知 (5) 研究費の立替制度 (6) 科研費の繰越制度の活用促進 (7) 間接経費の使途について (8) 国等への研究資金に対する要望 質疑応答</p>
15:20 ～ 16:50	<p>[同志社大] 研究倫理規準の策定とチェック体制の構築 ～規程等制定(2005年)のプロセスでの論議/文科省ガイドラインへの対応～ 同志社大学 木村 國男</p> <p>1. 研究倫理規準等関連規程制定の経緯 (1) 学際的な「基準」の制定を目指して (2) 不正行為等への対応の規程</p> <p>2. 同志社大学研究倫理規準 (1) 研究活動を行う上での倫理指針 (2) 学生の扱いに関する規定 (3) 研究倫理委員会の役割</p> <p>3. 同志社大学「人を対象とする研究」倫理規準 右ページ上段へ続く</p>

- (1) 「人を対象とする研究」の定義 (2) 個人情報・データを収集する場合の指針
 (3) 研究計画の審査手順 - 「書類審査」と「合議審査」
4. 教育研究活動における不正行為等への対応の体制 (2007年4月～)
 (1) 「違反等への対応に関する規程」 (2) 倫理審査委員会・倫理審査室の設置
5. これからの対応及び課題
 (1) 「会計等職務の権限に関する規程」の実務面での運用 質疑応答

科学研究費補助金の不正使用対策

2007年3月15日(木)

時間	講義項目
10:30 ～ 12:30	<p>競争的資金政策の新展開 ～科学研究費補助金の制度改革と研究機関の責務～ 文部科学省 磯谷 桂介</p> <p>1. 科学技術・学術政策の進展と科学研究費補助金 (1) 科学技術関係予算の動向 (2) 科学技術基本計画と科学研究費補助金 (3) 学術研究を支援する科学研究費補助金</p> <p>2. 科学研究費補助金制度の課題 (1) 不正使用・不適切経理の防止 (2) 審査・配分・執行・評価システムの在り方 (3) 研究種目の在り方</p> <p>3. 不正使用等防止対策と制度改善 (1) 防止対策と研究者・研究機関の責務 各研究機関が行うべき事務等 科学研究費補助金の不正使用防止対策として講ずる措置について (2) 制度改善の状況</p> <p>4. 今後の改革の方向性 質疑応答</p>
13:30 ～ 14:10	<p>日本学術振興会における科学研究費補助金改革への取組 ～学術システム研究センターの果たす役割～ 日本学術振興会 大木 幸子</p> <p>1. 学術システム研究センターの概要 (1) プログラムオフィサー制度の整備 (2) 学術システム研究センターの組織 (3) 学術システム研究センターの業務</p> <p>2. 科学研究費補助金における学術システム研究センターの役割 (1) 審査委員選考方法の見直し (2) 電子申請システムの導入 (3) 審査についての改善事項 (4) 「系・分野・分科・細目表」の見直し (5) 「若手研究(スタートアップ)」の新設 (6) 研究計画調書の見直し (7) 年度間繰越の活用促進 (8) 不正使用等の防止対策 (9) 今後の課題等 質疑応答</p>
14:20 ～ 16:20	<p>研究費の不正使用を防止するための管理・監査体制のあり方 ～研究現場の実情に合わせつつ、実効性を高める体制の構築～ 新日本監査法人 大久保和孝</p> <p>1. 研究費の不正使用に関する社会的背景 (1) 不正とは何か～背景と社会からの見方 (2) 制度的な要因とその改善状況</p> <p>2. 管理体制構築の基本的な考え方 (1) 社会的な要請に応じた組織管理の在り方 (2) 内部統制とは何か (3) 研究機関における管理・監査体制の構築</p> <p>3. 研究費の不正使用を防止するために必要な管理・監査体制 (1) 機関内の責任体系の明確化 (2) 適正な運営・管理の基盤となる環境の整備 (3) 不正対応の具体的な取り組み (4) 研究費の適正な運営・管理活動 (5) 研究機関内における意思疎通 (6) モニタリング制度の構築 質疑応答</p>